

イノベーション基金： 第二期募集のご案内

スタンダードチャータード銀行は、Seeing is Believing の活動の一環として、眼科医療におけるイノベーションの促進に向け、基金を運営しています。

Seeing is Believing イノベーション基金の新規お申込みを受け付けています。

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ/在日支店:千代田区、在日総支配人:竹内靖典)は、グローバルで取り組んでいる回避可能な視覚障害撲滅に向けたチャリティ活動 Seeing is Believing (SiB)の一環として2013年に創設した300万米ドルのイノベーション基金の、第二期募集を2015年5月1日より開始いたしました。第一期募集では、厳選した9件のプロジェクトに対して合計100万米ドルの助成金を交付しました。第二期募集においても、眼科医療のイノベーションを促進するために200万米ドルの基金を交付する予定です。

お申込み方法

眼科医療の促進、または視覚障害者の自立支援に向けたアイデアや新しいアプローチをご提案いただける個人や団体の方がいらっしゃいましたら、是非ご連絡ください。

申込者・団体の国籍は問いませんが、その革新的なアイデアやアプローチが、世界的にニーズの高いこの分野にどのような影響をもたらすのかをご提案ください。

お申込みにあたっては、[Seeing is Believing website](#) (英語) から申込書類をダウンロードし、ご提案内容をご記入の上、sib.innovation@sc.com 宛に2015年7月31日正午(英国時間)までにお送りください。

なぜ眼科医療なのか

現在世界の失明者数は約3,900万人にのぼるといわれており、その多くは貧困に苦しんでいます。しかしその80%は、予防、または効果が実証されたコスト効率の高い方法による治療により回避可能なのです。SiB イノベーション基金は、回避可能な視覚障害の撲滅に向けたグローバルなキャンペーン(『VISION 2020』)において、特にイノベーションの促進に重点を置いた支援を行うなど、眼科医療における創造的なアプローチを試行し、提供するさまざまな組織・団体をサポートしています。

イノベーションとは

回避可能な視覚障害を撲滅するためには以下の取り組みが必要であると、私たちは考えています。

- 眼の病気を治療するための、よりコスト効率が高く持続可能なアプローチの発掘

- 健康管理に携わる人材の育成
- 視覚障害撲滅の取組みを効率的に行うための設備・インフラの整備

助成金の交付について

イノベーション基金の第二期募集では、眼科医療における先端的なソリューションの推進を目指すプロジェクトに対し、合計で200万米ドルの助成金を交付します。回避可能な視覚障害撲滅のためのグローバルなキャンペーンに大きく寄与する可能性のある新技術や経営・提供・ビジネスに関する各モデルの開発とスケールアップをサポートするために、各プロジェクトに10万米ドルから20万米ドルの助成金を交付する予定です。

基金に関する詳しい情報(英語)は以下のサイトでご覧いただけます。

www.seeingisbelieving.org

本件に関する日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行

広報部

Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312

ca.japan@sc.com